



こみゅーと

「コミュニティユニオン東京」ニュース N0140号 2021年10月27日
 170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館 1F
 TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-mail staff@cutokyo.jp
<http://www.cutokyo.jp> 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」
 「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

「コロナ禍における女性労働者の状況」を学ぶ

講演 箕輪明子名城大学准教授

総選挙勝利！ 拡大月間112人目標達成を！

10月3日 第3回活動者会議43人参加で開く



CU東京は活動者会議をあらたな前進めざし、今回、“大いに学ぼう”と提起、総選挙勝利！全国一律最賃制の法制化！拡大月間成功を！スローガンに43人の参加で開きました。春の学習・交流集会につづき、労働者の働く環境、格差、差別に迫りました。

CUは7月の第13回大会で、コロナ禍、1年間に470件の相談、組織は約200人増、1600人を超えました。CUの相談活動が求められていること、有効な運動であることを確認しました。活動者会議は大会決定実践の意思統一になりました。

秋の月間は10.11月、組合員112人増やし(組織の7%)、1700人の新しい峰を築きます。組合

リーフ、本部・支部ニュース、缶バッジなど組合員に届け、参加を呼びかけます。「地域ユニオン」の理解は広がっています。労働相談の受け皿と同時に、地域労働運動の活性化のカギです。CUを応援する人・組織を広げます。CU大きく前進させ、働く人の雇用・賃金を守りましょう。

一人で悩まないで相談を



- 届きましたか
- つけてますか

CU東京をアピール

第3回活動者会議感想



箕輪先生の講演について

ユニオンちよだでも、非正規の相談がコロナ禍で増えている。6割の休業補償では、到底生活できません。と切実な声を聞きます。様々なデータで女性が賃金、職種などにおいて、差別されているのが、良くわかった。自分の会社でも、性差別を受けていると感じるので、性差別の規制の強化にも取り組んでいきたい。オンラインでの講演もスムーズで良かった。（ちよだ）

わかりやすかった。レジメも大変詳しくて、資料としても役に立ちます。その通りだと思った。質問に対してしっかり応じて上手に指導してもらい良かった。（文京）

立ち止まって、少し考える時間、間が欲しかった。女性労働者の抱えている現状について、過去～現在にわたりわかりやすかった。（こうとう）

後藤道夫先生の福祉国家構想。何度かお話を聴いていますが、今回の女性労働者に焦点をあてた、中身の濃い内容でした。時間一時間で早かったのですが、わかりやすかったです。素晴らしい先生ですね。はたらく女性の中央集会も楽しみです。（渋谷）

女性の置かれているきびしい状況については、これまでも様々に聞いてきましたが、今後も学習を続けていきたいと思います。今回、その問題に対して、どう対応してい

くか、運動の展望を聞くことができとてもよかったです。やはり公的な社会保障の重要性が大事だなと思いました。（渋谷）

1988年生まれなので、日本型雇用の変化を子ども時代に親を通して体感しました。とある都民住宅で、結婚した女性が専業主婦か、否かで待遇が変わった記憶があります。女性差別前提の制度を撤廃して、累進課税を！（練馬）

資料のグラフ等について全体的にカラーでわかりやすくしてほしい。（葛飾）

テーマをもっとしぼった方が良かったのではないのでしょうか。（江戸川）

統計etc.に基づく講演で、実態と問題点がよく理解できた。特に新自由主義構造改革のスタートから今日までの労働に関する社会構造の変化はよくわかる。資料もっと鮮明だと更に良かった。我々は、もっとジェンダー不平等の経済構造的要因にもしっかり眼を向けるべきだ！！（三多摩）

秋の拡大の決意、抱負その他

7人目標。労働相談を強化してがんばりたい。各支部の発言を聞いて丁寧に相談に乗ることが拡大につながる事の大切さがわかりました。（ちよだ）

できる限りの活動に励みます。（文京）

自分のことで手いっぱいです。（練馬）

あと1名必ずやりきる決意（葛飾）

協力組合員を（特に財政を支えるうえで）一定数拡大しなければとは思っています。存在を広く知ってもらおう活動の重要性をヒシヒシと感じています。（三多摩）

田辺陽子副委員長の感想



閉会のあいさつをする田辺副委員長

でも租税を支払えることとなり、財政づくりに繋がるという話も納得がいった。可視化で鮮明になった今こそ、訴えれば響くチャンス！沢山の仲間を迎え入れよう！

伊東弘子副委員長の感想

箕輪先生のお話はコロナ禍の現在、女性参加者が多い団体に引っ張りだこであるという印象を受けておりました。箕輪先生が会場全体をご覧いただけたら男性参加者の割合の多さに感動されたと思います。

長年にわたり国連女子差別撤廃委員会からの指摘事項を改善せずにいた問題がコロナ禍であぶりだされ、広く問題意識が共有されてきました。この現実により運動を広げていくことがより強く求められ、私たちに大きなチャンスが与えられています。

これからも学習を大切に共に頑張っていきたいという思いを強くした活動者会議でした。

第3回活動者会議は、名城大学・箕輪明子准教授に、非正規・女性差別の詳細なデータを基に講演して頂いた。

コロナ禍で、臨時休校による政府の支援政策は現状に全く追いつかない。扶養調査で、親族への連絡を恐れ、生保申請を見送らせる。ケアワーカーの人員不足と長時間労働等。新自由主義により分断の時代が続いている。賃金+社会保障で一人でも暮らしていける生活システムの構築が必須であること。それが一人

新たにCU東京の役割を確認し、組織拡大めざす

CU品川支部第12回定期大会



総選挙公示前日の慌ただしい中、10月18日（月）10時より、品川労協2階においてCU品川支部第12回大会が開催され、コロナ禍の下、全組合員に議案書を送り、委任状を返信して貰い、少人数で行いました。

大会では、池野委員長の挨拶の後、来賓の柴山品川労協事務局長は「CU品川は品川労協の中

でも確実に組合員を増やしている、これからも応援していく」と、高木CU東京書記長からは挨拶を兼ねて「CU東京の到達と地域の労働運動の活性化やCUを応援する人を増やす必要性」等について話して戴きました。

佐藤書記長から経過・会計報告・方針が一括提起されました。この中で「今年度は、コロナ禍の中なのに、労働相談が少なかったこと。組合員も増やしたが脱退もあり、70名を割ったこと。CU東京の拡大月間提起での目標5名の達成をやること。共済のありがたみやレクを通じての仲間を増やす事。コロナ禍が落ち着いたらレクを行う」などが報告・提起され、承認されました。

委員長 池野隆

副委員長 船津斌瀧

書記長 佐藤盛雄

執行委員 高畑 稔、丹伊田恵寿、

南 陳栄

会計監査 武田よね子

東京地評第20回大会開かれる

2021年9月26日

ジェンダーの視点での 労働相談の取り組みについて

伊東弘子副委員長が発言

コロナ禍における 労働相談



社会的マイノリティーである女性の労働相談が圧倒的です。セクハラ・モラハラ・解雇・労働条件の不利益変更など、弱い立場の女性

がターゲットです。低賃金で働く女性、非正規で働く女性のみならず、正社員の女性も攻撃対象にされている実態があります。

経営側に、「女性には組織的な後ろ盾がなく、闘うすべを知らない」つまるところ、「容易に経営側の思い通りにうごかすことができる」と見られ、加えて「女性は生計の主たる担い手ではなく補助だ」との予見、偏見も根底にあります。

労働相談のあり方

相談者は極限まで一人で頑張っています。そして、どうしようもない現実を前に動揺しています。しかし、相談を重ねる中で、抜け出す方法を求め、悲しみを怒りに変えて立ち上がっていくのです。

私たちは「労働相談から組合加入」にとどまらず、この苦境を乗り越えた方が、女性労働問題スペシャリストとして、続く人々を救う立場にたてるようにすることが重要と考えます。

真の組織拡大・強化の観点にもかなうことでしょう。私たちは、その重要なプロセスに立ち会い、ともに歩んでいます。苦境から立ち上がり、周囲の人々を救ってゆく自己実現のパワーの結集は社会を変えていく源泉であると信じ、私たちは相談に臨んでいます。

女性の活動家には 大きなハードルがある

生活するための資金をえることに目いっぱい時間を費やさざるを得ない状況の女性労働者は、無償活動をする余裕はありません。女性の活動家、とりわけ労働組合の意思決定機関に女性が少ない一因になっていると思います。女性の社会的地位の向上のためには、その活動への具体的な支援や施策の必要性を強く実感しています。

今期CU東京は女性執行委員が7人 (四役は3人)

ジェンダー観点の取り組みに弾みをつける好機であると考えています。楽しく交流しながら学習し、具体的な行動目標を立てて活動を強化すべく、始動しています。

▶総選挙がたたかわれている。この機関紙が届くころには結果が出ている。いい結果に結び付くように多くの組合員、知人・仲間に、「投票に行こう」、「私たちのいのち暮らしを守るために」と思い書いている。
▶第3回活動者会議を開いた。箕輪明子准教授に「コロナ禍における女性労働者の状況」と題して講演いただいた。スピードある講演に圧倒された感想もあったが好評いただいた。秋の運動の力にしたい。
▶コロナ感染が急速に減少している。国民の感染防止の努力の大きさを強く感じている。ワクチン接種も試行錯誤を経ながら大きく進んでいる。新しい政権に「いのちを大事にする政治」強く求めたい。
▶葛飾は寿司屋さんで働く人からの相談に機敏対応し解決、一気に3人を組合に迎えた。あと一人必ずと意気高い。秋の拡大も本格的な取り組みが始まった。組合員に声をかけよう、リーフと缶バッジ(一人で悩まないで相談を)、ニュースを届けよう。目標は年内1700人突破。力合わせてやり抜こう！